

天龍製鋸

天龍製鋸は1910年の創業以来、生産技術と切断に関するノウハウを融合させた優れた製品を産業分野に送り出している。鋼材の切断用チップソーは、棒鋼やパイプ、異形材から複合材に至るまで、多岐にわたる素材と切断環境に適合する鋸刃を供給している。また、従来チップソーでは切断コストが高くなる薄肉パイプの切断も、特殊チップと独自の設計を採用し、経済的に切断できる。

さらにステンレス鋼・工具鋼切断においても耐溶着性、耐摩耗性に優れた最新のコートティング技術で、鋸刃寿命が著しく向上し、高い評価を得ている。

神谷機工

神谷機工は工業用の機械刃物の製造・販売を行う。木質、窯業系材料、鉄鋼・非金属、紙・フィルム、プラスチック・樹脂など、切削する対象物に適した刃物を選べるよう幅広い材質を取りそろえている。形状でもチップソー、カッター、ルーターナイフなどがあり、環境・リサイクル材などの粉碎や破碎向けなど顧客用途に合わせて提案も行う。

既製品とともにカスタマイズ製品も少量から受けつける。再研磨やコーティングも得意とするので川下ユーダーへのフォローオ万全だ。

渡辺工業

住谷製作所は、汎用性の高い薄板鋼板用電動2本ロール成形機「SRN 55 Nannoja（なんじやー）」を発売。2本ローラーの端曲げ性と3本ロールの汎用性を融合し製品化した。

SRN 55は「繰り返し精度が不安定になるので、加圧力では径を変更できない」という2本ロールでのタブーを利用し、3本ロールのようないい方でロール成形を行うことを可能にした。薄板試作板金など単品加工のほか、少量ながら仕上げの美しさが求められる製品に最適な性能を提供する。

渡辺工業は肉薄パイプの曲げ・端末加工を主体に、各種の自動車用パイプ部品を製造している。

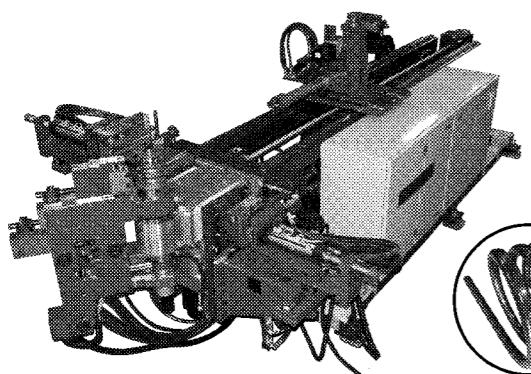
特に、独自開発した肉薄パイプの「極小R曲げ」の加工技術は、エンジン系部品などの加工に多く採用されている。パイプ径45ミリまでの鉄、ステンレスなどでは内R3ミリ曲げを可能にした。従来の切削溶接構造を「極小R曲げ」加工にすれば、高品質（溶接部の漏れ解消）、低コスト化を実現できる。

加工対象は鉄やステンレス、真ちゅう、アルミニウムなどで、なかでも、ステンレスは無酸化炉での溶接加工・アセンブリーも可能。

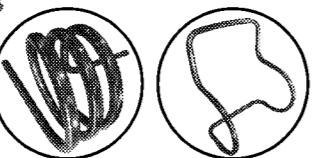
人に優しい「Rのデザイン」見直してみませんか？

「CNC左右曲げ30型ベンダー」登場!!

オプションで「大R曲げ」も可能に!!



加工例



京葉ベンド株式会社

本社 〒272-0032 千葉県市川市大洲4-7-12
TEL 047-377-1521㈹ FAX 047-377-1522
URL www.keiyo-bend.co.jp E-mail kbk@keiyo-bend.co.jp

マンヨウ最新型超精密棒鋼切断機

『特許拘束システムにより究極のビレット切断精度』
直角度、重量誤差、変形率、全て満足!

国内外実績多数!



株式会社 万陽

〒531-0077 大阪市北区大淀北1丁目7番3号 TEL:06-6458-0481
市バス・阪神バス 大淀中4丁目バス停前 FAX:06-6453-3435

URL: <http://www.manyo.com>
E-mail: sales@manyo.com

10,000kN最新型超精密棒鋼切断機
LBS1000NU型

道和機械刃物

道和機械刃物は切断機および刃具専門メーカー。同社の「角パイプ切断専用金型」は、V字型のスリット下型に先端角度130度の上型刃が下降することで角パイプを正確に切断する製品。パイプの辺の長さに合わせて標準化した5タイプ（D30 75）をラインアップしている。上型刃、スリット下型は再研磨が容易で、ランニングコストを抑えられる。

また、アングル材や折り曲げ板材の専用金型も用意している。刃先角度を直線に近い角度にすると、きれいな切断面を得ることができる。

泉陽は「軽量・安全・経済的」をうたつた「ワイヤロープカッター」「ウエイブドラゴン」の改良タイプを発売し、好評を得ている。ウエイブドラゴンの操作は簡単で効率良く、作業には補助工具も必要とせず、美しい切断が可能だ。また、カッティングブレードの研磨や取り換えも簡単にできる。

主な特徴は①バッキングに新方式を採用し、油漏れを防止②タンク側面にオイルゲージを付け、オイルの状態が一目で分かる③機械上部に給油口を設けており、カバーケーを外さず簡単にオイルの補給ができるなど。

また、ステンレス鋼や高張力鋼薄肉パイプなどの難削材にも、独自のコーティング技術によって、切断寿命の向上を図っている。

兼房が世界に先駆けて開発、発売している金属切断用超硬丸鋸「Ferro-Max（フェローマックス）」「ルドソー」は、ユーザーから高い評価を得ている。刃型やチップ材種の最適化により、高品質な切断材に応じた豊富なバリエーションを取りそろえている。

また、ステンレス鋼や高張力鋼薄肉パイプなどの難削材にも、独自のコーティング技術によって、切断寿命の向上を図っている。

吉田エンジニアリング

吉田エンジニアリングは線材や丸棒、パイプの曲げ加工機や端末加工機、応用装置を設計・製造している。顧客のニーズにきめ細かく対応し、これまでに多くの機種を開発してきた。また、長年の実績から低コスト加工に対応できる。自動車産業から建設業界、家庭用金物など、さまざま業界へ機械を納入し、高い評価を得ている。ユーダーの予算内で最大限のパフォーマンスを発揮するよう、機械はオーダーメードで1台ずつ仕上げている。

自社機械を含め、台湾や韓国など、アジア各国の機械装置を組み込んだ提案もできる。

兼房